

記録メディアのあゆみ

ビデオ

1960	1970	1980	1990	2000	2003									
	1965年 1/2インチオープンリールテープ 1965年にソニーが初の家庭用VTRを商品化。1969年にはEIAJ統一 I 型が登場。テープは1/2インチ幅で、磁性体は、酸化鉄を使用。	1971年 カセット式テープ 1971年にソニー、松下、日本ビクターが3/4インチ幅のU規格テープを商品化。1974年には1/2インチ幅のV-Cord- I、1976年にV-Cord- II を東芝、三洋が開発。1975年には松下がVX方式を開発。カセットタイプの小型化が図られた。	1975年 ベータ/1987年 EDベータメタルテープ 1975年にソニーが商品化。1/2インチ幅のテープで磁性体はコバルト系酸化鉄を採用。1983年にHiFiモデルが商品化。その後、1987年にソニーがハイバンドタイプEDベータを商品化。1/2インチ幅の家庭用VTRテープとしては初めてメタルテープを使用。水平解像度500本以上が可能。	1976年 VHSテープ 1976年に日本ビクターが商品化。1/2インチ幅のテープで磁性体はコバルト系酸化鉄を採用。1983年にはHiFiモデルが商品化。	1982年 VHS-Cテープ 1982年に日本ビクターがムービー用として商品化。テープ幅、記録方式、フォーマットはVHSと同一で大きさはコンパクトカセット並み。	1987年 S-VHS、S-VHS-Cテープ 1987年に日本ビクターが商品化。磁性材の高保磁力化によりVHS方式のハイバンド化を実現。水平解像度400本以上が可能。	1985年 8ミリビデオテープ 世界規格統一を目的とした8ミリビデオ懇談会で統一規格が決定し、1985年に商品化。8mm幅のメタルテープを使用。主にビデオカメラ用に使用。	1986年 2型スチルビデオフロッピーディスク 1986年にソニーが電子写真用磁気カメラを商品化。2インチタイプのフロッピーディスクに静止画25枚が記録できる。1988年にEIAJ規格が制定。家庭用、及び報道写真用に使用されている。	1989年 ハイエイト8ミリビデオテープ 1989年に商品化。8mmビデオオプション仕様として10社合意で開発されたハイバンド仕様。メタルテープ、蒸着テープを使用し、水平解像度400本以上が可能。1999年にソニーが商品化したDigital 8方式のビデオでも使用される。	1993年 W-VHSテープ 1993年に日本ビクターが商品化。テープ幅、カセットの基本構造は、VHSと同一でメタルテープを使用、ハイビジョン用。	1995年 ミニDVカセットテープ 全世界55社参画の協議会にて「民生用デジタルVCR仕様」として合意されたシステム。6.35mmのテープ幅で蒸着テープまたはメタルテープを使用する規格。主にビデオカメラ用に使用される。1997年に商品化されたDVデッキ用に、ミニDVカセットとあわせて使用されるスタンダードサイズのDVカセットも商品化されている。	1997年 D-VHSテープ 日本ビクターが開発したVHSビデオを基盤としてビデオ記録をデジタル化したフォーマット。1997年にSTDモード機が、2000年にHDTV信号をビットストリーム記録するHSモード機が商品化された。テープはS-VHSを改良した専用タイプ。	1999年 MD-DATA 2 ディスク 1999年にソニーが商品化。動画・静止画・音声記録できる大容量650MBの記録用ミニディスクMD-VIEW (MD-DATA 2 ディスク)。	2001年 MICROMVカセット 2001年にソニーが商品化。3.8mm幅の蒸着テープを使用し、容積をミニDVカセットの約3割に小型化。

VIDEO